

平成29年度当初予算の概要

環境部

1 総額

(千円、%)

会計名	29年度当初予算額 (A)	28年度当初予算額 (B)	差引増減 (A)-(B)	(A)/(B)
一般会計	5,737,931	6,264,465	△ 526,534	91.6
流域下水道事業費 特別会計	10,974,349	12,194,552	△ 1,220,203	90.0

(一般会計課別内訳)

(千円、%)

課名	29年度当初予算額 (A)	28年度当初予算額 (B)	差引増減 (A)-(B)	(A)/(B)
環境政策課	1,623,098	1,672,073	△ 48,975	97.1
環境エネルギー課	458,901	834,071	△ 375,170	55.0
水大気環境課	621,471	732,108	△ 110,637	84.9
生活排水課	2,731,758	2,723,624	8,134	100.3
自然保護課	229,525	232,010	△ 2,485	98.9
資源循環推進課	73,178	70,579	2,599	103.7

2 予算のポイント

しあわせ信州創造プランの基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて、また、第三次長野県環境基本計画の基本テーマ「参加と連携で築く 豊かな環境・持続可能な信州」に沿った施策を推進します。更に信州創生については、県民の財産である豊かな自然環境に、一層磨きをかけることが信州創生の基盤となるとの認識のもと、施策を積極的に展開するとともに、「人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」の6つの「信州創生の基本方針」のうち、「活力と循環の信州経済の創出」、「賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり」などに取り組めます。

○地球温暖化対策、環境エネルギー政策の推進【人口定着・確かな暮らし実現】

- ・家庭や事業活動の省エネルギー化及び県有施設の照明LED化の推進(事業連携部局:総務部、建設部)
- ・再生可能エネルギーの供給と利用の拡大(事業連携部局:農政部、林務部、教育委員会)
- ・環境エネルギー分野の産業化(事業連携部局:産業労働部)

○循環型社会の形成

- ・廃棄物の発生抑制と再資源化の推進
- ・廃棄物の適正処理の推進と不法投棄の減少

○水・大気環境の保全

- ・水・大気環境の監視、水資源保全対策の推進(事業連携部局:林務部)
- ・諏訪湖の環境改善対策の推進(事業連携部局:農政部、建設部)【人口定着・確かな暮らし実現】
- ・水道施設及び生活排水施設の着実な整備の推進【人口定着・確かな暮らし実現】

○自然環境の保全【人口定着・確かな暮らし実現】

- ・自然環境を保全しながら利用者視点で自然公園の改革を進める「自然公園グレードアップ構想」の展開(事業連携部局:観光部、林務部)
- ・生物多様性の保全に関する施策の推進(事業連携部局:林務部)
- ・山岳の環境保全と適正利用の推進(事業連携部局:観光部)

3 施策体系

<単位:千円>

【施策の柱】		【主要施策】	【主要事業】	H29当初予算	(H28当初)	
長野県総合5か年計画 基本目標	参加と連携で築く豊かな環境・持続可能な信州	参加と連携による環境保全	参加と連携による環境保全	新 環境基本計画等策定事業	989	(0)
			信州環境フェア負担金	2,700	(2,400)	
			環境保全研究所管理運営・研究事業	65,124	(84,899)	
			環境影響評価審査事業	6,810	(4,160)	
			地球温暖化対策・環境エネルギー政策の推進	エネルギー需要の県民の手によるマネジメント	家庭の省エネサポート制度運営事業	6,302
		【環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト】 【次世代産業の創出プロジェクト】(一部) (人口定着・確かな暮らし実現)	再生可能エネルギーの供給と利用の拡大	事業活動省エネサポート推進事業	26,958	(26,963)
				新 県有施設の照明LED化推進事業	10,009	(0)
		地球温暖化対策・環境エネルギー政策の推進	総合的な地球温暖化対策の推進	信州省エネ大作戦推進事業	1,338	(1,338)
				自然エネルギー地域発電推進事業	361,000	(358,815)
				地域主導型自然エネルギー創出支援事業	24,779	(24,750)
		循環型社会の形成	廃棄物の発生抑制・再資源化の推進	新 環境エネルギー分野ビジネス創出事業	3,093	(0)
				エネルギー自立地域を促進するための人材育成事業	4,990	(4,990)
		循環型社会の形成	廃棄物の適正処理の推進	地球温暖化適応策推進事業	9,583	(9,974)
				資源循環システム構築事業	4,185	(2,199)
		水・大気環境の保全	水資源の保全と適正な利活用	拡 “チャレンジ800”ごみ減量推進事業		
				廃棄物監視指導事業	45,280	(44,651)
		水・大気環境の保全	安心安全な水の保全	水道施設整備促進事業	462,154	(577,210)
				河川・湖沼等水質保全対策推進事業	82,628	(57,944)
				拡 諏訪湖環境改善事業		
				合併処理浄化槽整備事業	135,105	(140,402)
流域下水道事業(補助公共・県単独公共)	3,105,490			(4,409,550)		
新 流域下水道スマートエネルギー事業	5,000			(0)		
農業集落排水事業(補助公共)	184,603			(186,625)		
流域下水道地方公営企業会計導入事業	79,477			(44,285)		
快適な水環境の保全	水環境保全普及啓発事業			1,377	(1,377)	
大気環境等の保全	大気汚染防止対策事業			62,791	(62,438)	
	騒音・振動・悪臭対策事業	2,381	(3,347)			
化学物質対策	化学物質対策事業	7,743	(9,258)			
放射能対策	放射能調査事業	11,469	(23,326)			
自然環境の保全	多様な自然環境の保全	自然公園施設整備事業	182,732	(186,331)		
		・ 山岳環境整備推進事業				
		・ 民間との協働による山岳環境保全事業				
		・ 自然環境整備支援事業				
		新 県立自然公園整備支援事業				
自然環境の保全	自然との豊かなふれあいの確保	保護対策事業	13,515	(12,456)		
		・ 人と生きもの パートナーシップ推進事業				
		新 外来生物戦略構築事業				
自然環境の保全	自然との豊かなふれあいの確保	自然公園管理事業	33,278	(33,223)		
		拡 魅力ある自然公園づくり事業				

※ 【 】は長野県総合5か年計画のプロジェクト関連事業
()は人口定着・確かな暮らし実現総合戦略の関連事業

4 主要事業一覧

環境部

<p>事業名 [事業改善シート番号] 【しあわせ信州創造プランのプロジェクト名】 〈信州創生戦略の基本方針名(一部略記)〉</p>	<p>事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>				
<p>1 地球温暖化対策事業費 [060201] 〈活力と循環の信州経済の創出〉</p> <p>環境エネルギー課</p>	<p>1 家庭の省エネサポート制度運営事業 家庭の省エネを促進するため、民間事業者(省エネサポート事業者)が県民と接する機会を活用し、省エネアドバイスや簡易診断を実施します。</p> <p>2 事業活動省エネサポート推進事業 事業活動に伴うエネルギー利用の効率化を促進するため、事業活動温暖化対策計画書制度に基づき、省エネの助言や現地調査等を実施します。</p> <p>(新)3 県有施設の照明LED化推進事業 県有施設の照明についてLED化を推進するための調査を実施します。</p>				
<p>*家庭の省エネアドバイス・簡易診断件数:25,000件 *事業活動温暖化対策計画書提出事業者の温室効果ガス排出削減量:前年度比△1%以上 *環境マネジメントシステム運用事業の温室効果ガス排出削減量:H21比△11.7%</p>					
H29当初		54,574	H28当初		54,524
<p>2 自然エネルギー推進事業費 [060202] 〈活力と循環の信州経済の創出〉</p> <p>環境エネルギー課</p>	<p>1 自然エネルギー地域発電推進事業 固定価格買取制度を活用した自然エネルギー導入を進めるため、NPO、中小企業等が行う自然エネルギー発電事業について助成します。</p> <p>2 地域主導型自然エネルギー創出支援事業 自然エネルギーの利用を促進するため、市町村やNPO、中小企業等が行う地域主導型の熱利用事業に対して助成するとともに、自然エネルギー等を活用した地域づくり計画の策定を支援します。</p> <p>(新)3 環境エネルギー分野ビジネス創出事業 地域経済の活性化と省エネルギー化・自然エネルギー活用の更なる推進を図るため、環境エネルギー分野の技術等の産業化に向けた研究を支援するとともに、ドイツをはじめとする海外先進事例の情報を関係者が共有することで、環境エネルギーに関する産業の振興に取り組みます。</p>				
<p>*発電設備容量でみるエネルギー自給率:80.3%(H27)→100.0%(H29) *1村1自然エネルギープロジェクト登録件数:250件(累積)(H29) (一部 自然エネルギー地域基金、ふるさと信州寄附金基金活用事業)</p>					
H29当初		394,744	H28当初		769,573
<p>3 資源循環システム構築事業費 [060601]</p> <p>資源循環推進課</p>	<p>「ごみ減量日本一」継続のため、県民や市町村等と協働し、食品ロス削減やレジ袋削減等、廃棄物の発生抑制や再資源化に向けた取組を推進します。</p> <p>(新)・「ごみ減量日本一」を推進する専用ウェブサイトの新設</p>				
<p>*1人1日当たり一般廃棄物排出量:847g(H25)→800g(H29) *産業廃棄物総排出量:4,341kt(H25)→4,363kt(H29) (一部 環境自然保護基金活用事業)</p>					
H29当初		4,185	H28当初		2,199

事業名 [事業改善シート番号] 【しあわせ信州創造プランのプロジェクト名】 <信州創生戦略の基本方針名(一部略記)>	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)							
4 諏訪湖環境改善事業費 [060301] 【誇りある暮らし実現】 <まち・むらづくり>	「泳ぎたくなる諏訪湖」、「シジミが採れる諏訪湖」に向けた環境改善を推進し、人が集い、良好な生態系を有する魅力的な諏訪湖づくりを目指します。 (新)・諏訪湖創生ビジョンの策定 ・貧酸素対策の推進 ・人が集い、良好な生態系を有する諏訪湖づくり							
水大気環境課	*諏訪湖創生ビジョンの策定(H29) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">H29当初</td> <td style="width:25%; text-align: center;">25,358</td> <td style="width:25%;">H28当初</td> <td style="width:25%; text-align: right;">5,491</td> </tr> </table>				H29当初	25,358	H28当初	5,491
H29当初	25,358	H28当初	5,491					
【新】 5 流域下水道スマートエネルギー事業費 [060401]	下水道の潜在的エネルギー資源の有効活用を図るため、最新の創エネ・省エネ技術の調査、県内流域下水道における再生可能エネルギー賦存量、エネルギー創出量・削減量の試算を行い、「流域下水道スマートエネルギープラン」を策定します。 *流域下水道スマートエネルギープランの策定							
生活排水課	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">H29当初</td> <td style="width:25%; text-align: center;">5,000</td> <td style="width:25%;">H28当初</td> <td style="width:25%; text-align: right;">0</td> </tr> </table>				H29当初	5,000	H28当初	0
H29当初	5,000	H28当初	0					
【新】 6 県立自然公園整備支援事業補助金 [060502] 【農山村産業クラスター形成】 <活力と循環の信州経済の創出>	「世界水準の山岳高原観光地」を目指し、自然環境の保全を図るとともに自然公園の利用を促進するため、県立自然公園内の施設整備を支援します。 ・事業主体:市町村及び民間事業者 ・補助率:1/2、1/3 *山小屋トイレにおけるし尿処理施設整備率:78%(H27)→85%(H32)							
自然保護課	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">H29当初</td> <td style="width:25%; text-align: center;">21,998</td> <td style="width:25%;">H28当初</td> <td style="width:25%; text-align: right;">0</td> </tr> </table>				H29当初	21,998	H28当初	0
H29当初	21,998	H28当初	0					
【新】 7 外来生物戦略構築事業費 [060501] 【誇りある暮らし実現】	地域が取り組む外来生物対策を戦略的に展開するため、駆除対策方針の策定に向けた実態把握や駆除労力軽減技術の開発、駆除事例づくりに取り組みます。 ・生態系に特に被害を及ぼしている外来生物の分布等調査 ・大学との協働による駆除労力軽減技術の開発 ・駆除における初期対応の重要性を周知するためのモデル事例づくり *生物多様性保全活動を支援、協働した企業・団体数:15団体(H27)→40団体(H29)							
自然保護課	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">H29当初</td> <td style="width:25%; text-align: center;">2,273</td> <td style="width:25%;">H28当初</td> <td style="width:25%; text-align: right;">0</td> </tr> </table>				H29当初	2,273	H28当初	0
H29当初	2,273	H28当初	0					

事業名 [事業改善シート番号] 【しあわせ信州創造プランのプロジェクト名】 <信州創生戦略の基本方針名(一部略記)>	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
8 魅力ある自然公園づくり事業費 [060502] 【農山村産業クラスター形成】 <活力と循環の信州経済の創出>	県内の美しい自然公園を次世代に継承し、貴重な自然資本として有効利用を図るため、環境保全を図りつつ利用促進に向けた取組を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・県立自然公園の点検・検討(塩嶺王城・天竜小洪水系) ・中央アルプス県立公園の国定公園格上げに向けた公園計画書等の作成 (新)・県立自然公園「協働型管理運営体制」を構築するための地域会議を設置 			
自然保護課	*自然公園利用者数:3,613万人(H27)→3,637万人(H29)			
	H29当初	17,798	H28当初	17,757

平成 29 年度 当初 予算 の 概要

林 務 部

1 予算額

(千円、%)

会 計 名	29年度当初予算額 (A)	28年度当初予算額 (B)	差引増減 (A)-(B)	(A)/(B)
一 般 会 計	16,047,522	16,913,105	△ 865,583	94.9
県 営 林 経 営 費 特 別 会 計 (森林づくり推進課)	376,396	385,650	△ 9,254	97.6
林 業 改 善 資 金 特 別 会 計 (信州の木活用課)	84,633	224,960	△ 140,327	37.6

(一般会計課別内訳)

(千円、%)

課 名	29年度当初予算額 (A)	28年度当初予算額 (B)	差引増減 (A)-(B)	(A)/(B)
森 林 政 策 課	3,267,072	3,121,990	145,082	104.6
信 州 の 木 活 用 課	2,230,816	2,217,462	13,354	100.6
森 林 づ くり 推 進 課	10,549,634	11,573,653	△ 1,024,019	91.2

2 予算のポイント (別紙1)

3 事業体系 (別紙2)

平成29年度当初予算のポイント

林務部

- 社会全体の共通の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐため、「森林を活かし森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし」の実現に向けた取組を重点的に推進します。
- 特に、「森林県」から「林業県」への飛躍を目指し、高収益・自立型林業構造の確立に取り組めます。

◎ みんなの暮らしを守る森林づくり

適切な森林整備の推進

- ・森林の状況を踏まえ、重視すべき機能に応じ必要な、間伐等の森林整備を計画的に実施
造林事業(公共・県単) (33億1,441万6千円)

災害に強い森林づくり

- ・公益的機能の高度発揮をめざす森林においては、未然に災害を防止し、県民生活の安全・安心を確保するため、適切な間伐や治山施設の整備を計画的に推進

治山事業(公共・県単・直轄) (52億5,211万5千円)

木材生産の高度化をめざす森林づくり

- ・集約的な森林施業を促進するため、所有者等の情報を集約した林地台帳の整備を推進
- ・木材生産機能を重視する森林においては、林業県への飛躍を目指し素材生産の効率化を図るため、低コスト造林や優良苗木の安定供給に向けた取組を推進

次世代森林情報整備推進事業 (4,950万8千円)

低コスト造林一貫作業システム導入促進モデル事業 (499万8千円)

林業用優良苗木生産指導事業 (1,392万8千円)

産学官連携によるスマート林業推進事業 (ゼロ予算事業)

◎ 木を活かした力強い産業づくり

県産材の需要拡大

- ・林業県への飛躍を目指し、地域で生産される森林資源を効率的、安定的に供給し、有効に利用していく体制の構築を検討
- ・「信州型接着重ね梁」等、付加価値の高い商品の販路拡大を促進

信州の木自給圏構築事業 (1,247万円)

信州の木と住まいの総合対策事業 (250万円)

* 事業連携部局:産業労働部、農政部、建設部

産業としての林業を支える担い手の確保・育成

- ・地域の中核的な林業の担い手である森林組合の経営改善の取組を支援

森林組合経営改善支援事業 (174万8千円)

◎ 森林を支える豊かな地域づくり

- ・野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るとともに、信州ジビエのブランド化により捕獲した個体を地域の有用な資源として活用

地域で取り組む総合的野生鳥獣被害対策事業 (3,760万8千円)

信州ジビエ需要拡大総合対策事業⑧ (1,273万3千円)

* 事業連携部局:健康福祉部、産業労働部、観光部、農政部

長野県における森林づくりの事例

長野県森林づくりの指針

「長野県森林づくりアクションプラン」

しあわせ信州創造プラン 長野県総合5か年計画【2013】 「確かな暮らしが営まれる美しい信州」

豊かな自然環境の保全

地域防災力の向上

森林を活かす力強い林業・木材産業づくり

低炭素で循環型の地域社会づくり

魅力ある地域の創造と発信

豊かな自然環境の保全

みんなの暮らしを守る森林づくり

実効性のある森林計画制度の確立

地域森林計画樹立事業

新 次世代森林情報整備推進事業

適切な主伐・更新施業の促進

信州の森林づくり事業【県土強化】

新 低コスト造林一貫作業システム導入促進モデル事業【産業イノベーションの推進】

一部新 林業用優良苗木生産指導事業

新 産学官連携によるスマート林業推進事業【産業イノベーションの推進】

計画的な間伐の推進

造林事業（公共・県単）

信州の森林づくり事業【県土強化】 **再掲**

豊かな水を育む森林づくり事業

税 みんなで支える里山整備事業【県土強化】

税 森林づくり推進支援金

災害に強い森林づくりの推進

松林健全化推進事業

治山事業（公共・県単・直轄）【県土強化】

木を活かした力強い産業づくり

林業経営団地の設定及び林内路網整備等の推進

森林整備地域活動支援事業

税 地域で進める里山集約化事業

林道事業（公共・県単）

森林整備に直結する作業道整備事業

加 高性能林業機械導入推進事業

担い手対策の推進

森林組合経営改善支援事業

林業就業支援事業

林業労働力対策事業

税 信州フォレストコンダクター活動支援事業【郷学郷就県づくり】

林業大学校費

県産材の生産加工流通体制整備の推進

【信州F・POWERプロジェクトの推進】

県産材供給体制整備事業

環 長野・オーストリア林業技術交流事業【グローバル経済への対応】

加地 信州の木自給圏構築事業【地消地産の推進】【地域の振興】

地 100年カラマツの利用技術開発事業（H28補正）

様々な用途での県産材需要の拡大

税 信州の木活用モデル地域支援事業

一部新 **加環** 森のエネルギー総合推進事業【地消地産の推進】

県産材振興対策事業

木造公共施設整備事業

一部新 **加** 信州の木と住まいの総合対策事業

森林を支える豊かな地域づくり

地域特性に応じた森林経営・森林資源の活用・交流促進

加 特用林産産地振興総合対策事業

税 木育推進事業

税 森林（もり）の里親促進事業

地 マツタケ人工栽培の加速化事業（H28補正）

一部新 信州ジビエ需要拡大総合対策事業【地消地産の推進】

一部新 **地** 全国一の森林セラピー県推進事業【観光地域づくり】

「信州 山の日」推進事業

野生鳥獣被害対策の推進

野生鳥獣総合管理対策事業

地域で取り組む総合的野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣捕獲・管理事業

野生鳥獣保護管理体制整備事業

ハンターデビュー支援事業

新：新規事業 **一部新**：一部新規（拡充・見直し）事業 **再掲**：再掲載

地：地方創生関連事業 **税**：長野県森林づくり県民税活用事業

加：森林整備加速化・林業再生基金活用事業 **環**：自然エネルギー地域基金活用事業

鳥獣対策・ジビエ振興室 施策体系及び予算(H29)

(単位:千円)

森林を支える豊かな地域づくり
 野生鳥獣被害対策の推進
 353,110 千円

狩猟対策事業
 11,926 千円

免許事務費 狩猟免許試験・狩猟者登録経費	3,636
狩猟免許講習の実施 新規狩猟免許受験者及び免許更	4,750
県営射撃場運営事業 県営射撃場の整備	1,186
安全狩猟実技訓練講習 第一種銃猟免許取得者に対する実技準連講習(委託)	2,354

鳥獣保護管理事業
 37,599 千円

鳥獣保護管理員の任用 地域における鳥獣の保護及び管理業務補助の担い手を任用	20,315
鳥獣保護区の指定管理 鳥獣保護のための保護区の設定・解除	2,059
野生傷病鳥獣救護対策 傷病鳥獣の救護 高病原性インフルエンザ対策	2,695
特定鳥獣保護管理事業 特定鳥獣の生息状況調査 保護管理計画策定	12,530
	(国庫) (3,530) (一財) (9,000)

〔統合したH28事業〕

特定鳥獣保護管理事業 (一財)	1,250
特定鳥獣生息状況調査事業	11,473
	(国庫) (3,650) (一財) (7,823)

野生鳥獣総合管理対策事業
 290,852 千円

野生鳥獣総合管理対策事業 野生鳥獣被害防除対策促進のために取り組む市町村等に支援(補助事業部分を統合)	244,309
野生鳥獣捕獲・管理事業 ニホンジカの生息状況調査を元に捕獲を検証し効率化を推進	32,000
野生鳥獣保護管理体制整備事業 野生鳥獣被害軽減を図るため、生態調査の支援や捕獲者の確保等の体制整備	14,543
野生鳥獣基礎調査支援	5,801
	(国庫) (4,632) (一財) (1,169)

被害防止緊急活動支援 (国庫)	(230,000)
被害防除対策(国庫分) (国庫)	(8,386)
個体数調整報奨金等(県単分)	(28,276)

野生鳥獣捕獲・管理事業 野生鳥獣捕獲管理対策 効率的捕獲実証事業	(2,529)
	(国庫) (2,100) (一財) (429)

信州ジビエ需要拡大総合対策事業
 12,733 千円

信州ジビエ需要拡大総合対策事業 JRとの連携による信州ジビエフェア 新鮮なジビエ肉の提供等新たな供給可能性検討 シカ皮利用商品開発 ジビエ料理を美味しく提供でき広める人材の育成	12,733
--	--------

平成29年度野生鳥獣関係予算

(千円)

平成28年度野生鳥獣関係予算

(千円)

H29事業区分	H29				
	予算額	狩猟税	財源内訳		
			国庫	一財	証紙
狩猟対策事業	11,926	3,540	0	0	8,386
免許事務費	3,636	0	0	0	3,636
狩猟免許試験事務	620				620
狩猟者登録	3,016				3,016
狩猟免許講習実施事業	4,750	0	0	0	4,750
狩猟免許更新講習会	3,508				3,508
初心者狩猟免許講習会	1,242				1,242
県営射撃場運営事業	1,186	1,186			
安全狩猟実技訓練講習事業	2,354	2,354			
鳥獣保護管理事業	37,599	16,017	3,530	18,052	0
鳥獣保護管理員の任用等	20,315	13,958		6,357	
鳥獣保護区等の指定管理	2,059	2,059			
野生鳥獣救護対策事業	2,695	0	0	2,695	0
傷病鳥獣救護対策事業	2,188			2,188	
インフルエンザウイルス保有状況調査	507			507	
特定鳥獣保護管理事業	12,530	0	3,530	9,000	0
特定鳥獣保護管理検討委員会	979			979	
カモシカ適法捕獲	211			211	
カモシカ個体群動向調査	5,295		3,530	1,765	
ニホンザル生息状況調査	6,045			6,045	
野生鳥獣総合管理対策事業	290,852	0	241,576	49,276	0
野生鳥獣総合管理対策事業	244,309	0	206,701	37,608	0
個体数調整報奨金(緊急捕獲支援事業)	198,843		198,843		
野生鳥獣被害防除対策	7,858		7,858		
捕獲檻等購入費	3,528		3,528		
広域捕獲活動経費	3,783		3,783		
造林木保護(樹皮剥ぎテープ)	900		900		
地域で取り組む総合的野生鳥獣被害対策	37,608			37,608	
個体数調整事業	17,455			17,455	
集落等捕獲隊活動支援事業	2,000			2,000	
実施隊員支援事業	3,080			3,080	
ツキノワグマ等放獣事業	15,073			15,073	
野生鳥獣捕獲・管理事業	32,000	0	25,500	6,500	0
指定管理鳥獣の捕獲対策	5,000		2,500	2,500	
高度捕獲技術を活用した捕獲の推進	10,000		10,000		
実施計画策定に必要な調査	13,000		9,000	4,000	
捕獲個体の処分	0				
分布拡大地域での緊急捕獲	4,000		4,000		
野生鳥獣保護管理体制整備事業	14,543	0	9,375	5,168	0
野生鳥獣保護管理人材養成事業	1,132			1,132	
クマ対策員配置事業	1,272			1,272	
プロフェッショナルハンター育成事業	0				
ハンターデビュー支援事業	4,893		4,743	150	
野生鳥獣基礎調査支援	5,801		4,632	1,169	
県事務費	1,445			1,445	
信州ジビエ需要拡大総合対策事業	12,733	0	7,000	5,733	0
信州ジビエ需要拡大総合対策事業	12,733	0	7,000	5,733	0
信州ジビエ活用推進事業	11,733		6,000	5,733	
信州産シカ肉供給体制整備事業	0				
信州ジビエ人材育成事業	1,000		1,000		
事業費計 a	353,110	19,557	252,106	73,061	8,386
人件費	11,338	2,000			9,338
合計 b	364,448	21,557	252,106	73,061	17,724

収入見込 21,557 17,724

	H29				
	予算額	狩猟税	国庫	一財	証紙
義務費	19,432	13,075		6,357	
準義務費	348			348	
経常事務費	1,945	741		1,124	80
政策的事務費	310,897	4,555	242,408	55,628	8,306
臨時経費	12,627	1,186	2,698	8,743	
PJ経費	7,861		7,000	861	
合計	353,110	19,557	252,106	73,061	8,386

政策的経費(狩猟税+一財) 60,183

H28事業区分	H28				
	予算額	狩猟税	国庫	一財	証紙
狩猟対策事業	10,803	3,534	0	0	7,269
免許事務費	3,636	0	0	0	3,636
狩猟免許試験事務	618				618
狩猟者登録	3,018				3,018
狩猟免許講習実施事業	3,633	0	0	0	3,633
狩猟免許更新講習会	2,453				2,453
初心者狩猟免許講習会	1,180				1,180
県営射撃場運営事業	1,242	1,242			
安全狩猟実技訓練講習事業	2,292	2,292			
鳥獣保護管理事業費	37,854	13,099	3,650	21,105	0
鳥獣保護管理員の任用等	20,352	11,015		9,337	
鳥獣保護区等の指定管理	2,084	2,084			
野生鳥獣救護対策事業	2,695	0	0	2,695	0
傷病鳥獣救護対策事業	2,188			2,188	
インフルエンザウイルス保有状況調査	507			507	
特定鳥獣保護管理事業	1,250	0	0	1,250	0
特定鳥獣保護管理検討委員会	1,014			1,014	
カモシカ適法捕獲	236			236	
特定鳥獣生息状況調査事業	11,473	0	3,650	7,823	0
カモシカ個体群動向調査	5,450		3,650	1,800	
イノシシ生息状況調査	6,023			6,023	
野生鳥獣総合管理対策事業	352,696	293	295,386	57,017	0
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	230,000		230,000		
計(捕獲管理+被害防除)	8,386		8,386		
捕獲檻等購入費	3,703		3,703		
広域捕獲活動経費	3,783		3,783		
造林木保護(樹皮剥ぎテープ)	900		900		
野生鳥獣捕獲・管理事業	28,276			28,276	
鳥獣被害対策実施隊強化事業	23,205			23,205	
個体数調整捕獲報奨金	18,725			18,725	
集落等捕獲隊活動費	1,400			1,400	
実施隊員への支援	3,080			3,080	
ツキノワグマ放獣事業	4,321			4,321	
銃猟者確保・育成支援事業	750			750	
野生鳥獣捕獲・管理事業	68,000	0	48,000	20,000	0
指定管理鳥獣の捕獲対策	27,000		13,500	13,500	
高度捕獲技術を活用した捕獲の推進	5,000		5,000	0	
実施計画策定に必要な調査	20,000		14,000	6,000	
捕獲個体の処分	1,000		500	500	
北アルプスでの緊急捕獲	15,000		15,000		
計(捕獲管理+体制整備)	18,034	293	9,000	8,741	
野生鳥獣保護管理体制整備事業	0				
野生鳥獣保護管理人材養成事業	1,056			1,056	
クマ対策員配置事業	5,320			5,320	
プロフェッショナルハンター育成事業	1,140			1,140	
プロフェッショナルハンター育成事業	2,000		2,000		
ハンターデビュー支援事業	5,000		4,900	100	
野生鳥獣捕獲・管理事業	0				
野生鳥獣捕獲管理対策事業	429			429	
効率的捕獲方法実証事業	2,100		2,100		
県事務費	989	293		696	
信州ジビエ活用推進事業	21,807	0	20,880	927	0
信州ジビエ活用推進事業	21,807	0	20,880	927	0
信州ジビエ名産品化事業	7,927		7,000	927	
信州産認証シカ肉供給体制整備事業	11,880		11,880		
信州ジビエ人材育成事業	2,000		2,000		
事業費計 a	423,160	16,926	319,916	79,049	7,269
人件費	12,822	2,107			10,715
合計 b	435,982	19,033	319,916	79,049	17,984

収入見込 19,033 17,984

	H28				
	予算額	狩猟税	国庫	一財	証紙
義務費	19,598	10,261		9,337	
準義務費	293	293			
経常事務費	2,005	612		1,264	129
政策的事務費	366,796	4,518	296,338	58,800	7,140
臨時経費	12,661	1,242	2,698	8,721	
PJ経費	21,807		20,880	927	
合計	423,160	16,926	319,916	79,049	7,269

政策的経費(狩猟税+一財) 63,318

鳥獣保護管理事業

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 趣 旨

第12次鳥獣保護管理事業計画（平成29年度～平成33年度）に基づき、鳥獣の保護及び管理を行う人員の配置及び鳥獣保護区等の指定並びに鳥獣の生息状況等の把握及び特定鳥獣保護管理計画に基づく対策の適切な実行のための基礎資料の作成を行い、適正な鳥獣の保護及び管理を図る。

2 事業主体 長野県

3 事業内容

- (1) 鳥獣保護管理員の任用
- (2) 鳥獣保護区等の標識の設置等
- (3) 傷病鳥獣等の救護
- (4) 野鳥における高病原性鳥インフルエンザウィルスの保有状況調査
- (5) 特定鳥獣保護管理検討委員会等の開催及び必要な調査

4 予算額 37,599千円

（国庫3,530千円 狩猟税16,017千円、一般財源18,052千円）

5 積算内訳

（単位：千円）

事業名	事業内容	平成29年度			H28当初 予算額	
		予算額	国庫	狩猟税		一財
鳥獣保護管理員の任用等	鳥獣保護管理員（116名）及び広域鳥獣保護管理員10名の任用	20,315		13,958	6,357	20,352
鳥獣保護区等標識設置	鳥獣保護区等の指定、期間更新に係る標識類整備（設置、付替）及び期間満了となった保護区等の標識類の撤去等	2,059		2,059		2,084
野生鳥獣救護対策事業	県内公営動物園及び長野県獣医師会への救護委託及び救護ボランティアへの救護用品の配付	2,188			2,188	2,188
ウイルス保有状況調査	野鳥における高病原性鳥インフルエンザウィルスの保有状況の調査	507			507	507
特定鳥獣保護管理事業	特定鳥獣等保護管理検討委員会及び専門部会の開催並びに第二種特定鳥獣管理計画の策定及び検証のための必要な調査の実施	12,530	3,530		9,000	11,423
合 計		37,599	3,530	16,017	18,052	36,554

6 事業規模 37,599千円

⑧ 野生鳥獣保護管理人材養成事業

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 趣 旨

野生鳥獣の生態や捕獲・被害防除技術の普及を図るための職員への研修を行い、被害集落等に効果的な捕獲対策及び防除対策に係る普及を積極的に実施する。

また、地域で野生鳥獣の被害対策に精通した人材の育成を図る場合、講師派遣等に係る必要な経費を支援する。

ツキノワグマの放獣作業に関しては、従来木曾地方事務所管内において、「クマ対策員」による対応が困難な場合の放獣に必要な麻酔薬等を配備し職員が放獣を実施しており、麻酔施用技術を持った職員を確保するための研修を実施する。

2 事業主体

長野県

3 事業内容

(1) 基礎研修

野生鳥獣の生態、鳥獣害防止等に関する基礎的な研修を県が実施し、関係者に基礎的知識を身につけてもらうとともに、国若しくは独立行政法人等で開催される専門研修に職員を派遣し、スキルアップを図る。

区 分	主催	内 容	H29 要求	H28 予算
鳥獣防止対策研修	国	鳥獣別農林業被害防除技術、防除対策の実習等	31 千円	34 千円
鳥獣保護管理専門研修	県	初心者研修：生態・防除・捕獲技術等 経験者研修：集落管理実習等	106 千円	106 千円
計			137 千円	140 千円

(2) 実技研修

ツキノワグマについて、木曾地域は「クマ対策員」による対応が困難な場合に、地方事務所職員が対応しているが、本年度から木曾町と連携して「地域おこし協力員」を地域の鳥獣対策の専門家として育成して地元に着させる取組を行っており、これをモデルケースとして必要な支援を行うとともに、職員間の技術の継承に必要な研修会を開催する。

区 分	内 容	H29 要求	H28 予算
⑧ 地域の専門家育成研修	専門家による現地研修	108 千円	
緊急捕獲対応機材配備	中型獣用捕獲檻	135 千円	135 千円
木曾地域ツキノワグマ出没緊急対応	錯誤捕獲等個体の放獣用麻酔の配備	716 千円	716 千円
ツキノワグマ対応実技研修	職員研修用講師謝金及び費用弁償	36 千円	65 千円
計		995 千円	916 千円

4 予算額

1, 132 千円（一般財源 1,132 千円）（政）

5 事業目標

- 地域における被害対策の着実な推進と必要な人材の確保
- 木曾地方事務所におけるクマ対策の体制の構築

新 野生鳥獣基礎調査支援の概要

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 現状と課題

野生鳥獣による被害対策を効率的に推進するためには、被害対策や捕獲対策の効果を科学的に評価・検証し、次年度以降の実施計画に反映させる必要がある。

また、銃猟により捕獲された野生鳥獣が回収不要となり、山野に放置された狩猟用の鉛弾を含む死肉を食べた猛禽類が、鉛中毒を起こすことが知られており、その検証が求められている。

2 趣旨

野生鳥獣の行動状況や分布状況は、生息環境、生息密度、捕獲圧等に応じて柔軟に変化させる習性を有していることから、カメラトラップ等の新たな手法を用いて調査を行い、経年的に状況を把握する必要がある。

さらに、捕獲された個体サンプルのモニタリング調査により、捕獲が個体群に与えている状況を科学的に把握し、評価を行うことで野生鳥獣の各種計画に反映する。

また、長野県内では猛禽類に対する鉛の影響が把握されていないため、鉛の影響を調査し、必要な対策を図る。

3 事業主体 県

4 事業内容

カメラトラップ調査等の野生鳥獣の行動・分布状況調査を行い、捕獲個体サンプルの分析によるモニタリングを実施し、計画策定及び事業の評価をする際の基礎資料とする。猛禽類に対する鉛の影響を把握する。

5 予算額

5,801千円（国庫4,632千円 一般財源1,169千円）（政）

6 積算内訳

（単位：千円）

区分	内容	H29 予算額 (一般財源)	H28 予算額 (一般財源)
野生鳥獣基礎調査	試験研究機関によるカメラトラップ調査や野外調査による生息状況調査、捕獲個体サンプル調査等の実施経費	5,372 (740)	2,019
猛禽類に対する鉛弾影響調査	環境保全研究所(安茂里庁舎)での鉛濃度測定、地方事務所からの検体輸送	429 (429)	429 (429)

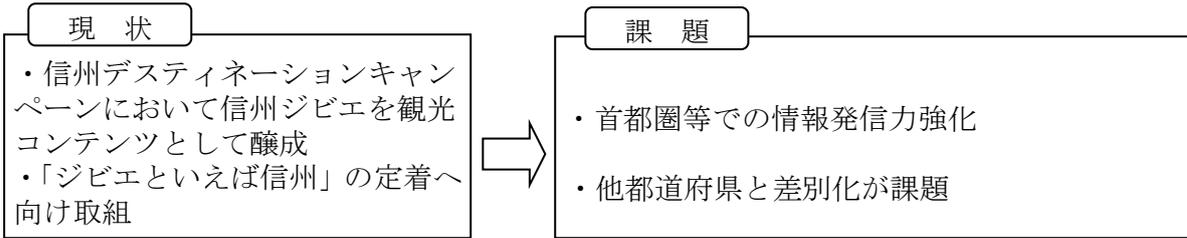
7 事業目標

野生鳥獣の捕獲、管理等の推進及び各種計画の策定、鉛弾影響の把握。

⑧ 信州ジビエ需要拡大総合対策事業

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 現状と課題



2 趣旨

「ジビエといえば信州」をめざして、信州ジビエの観光コンテンツとしての醸成を目指すとともに、首都圏へアクセスの良さを生かして新鮮で美味しいジビエの供給等、新たなブランド化の可能性を検討する。

また、シカ皮の利用や、人材育成等により捕獲したシカを地域資源として有効に活用し、農山村の活性化に資する。

3 事業主体 県、事業者等

4 予算額 12,733 千円 (要求額 12,927 千円)

(国庫 7,000 千円 一般財源 5,733 千円)
一般財源のうち (政) 4,872 千円 (プ) 861 千円

5 事業内容

事業区分	事業内容	事業主体	補助率	予算額 (一般財源)	前年度予算額 (一般財源)	増減
⑧ 活用 推進	・JR 東日本と連携した信州ジビエフェアの展開	県	委託	4,872 5,000 (4,872) (5,000)	0 (0)	4,872 (4,872)
	・地理的利点を生かした新鮮なジビエの供給モデル構築等により、新たなブランド化手法の実証 ・意欲ある生産者や流通事業者との協力による供給可能量等の把握 ・シカ皮等の商品開発と県内外でのリサーチ	県	委託	6,000 (0)	7,000 (0)	△1,000 (0)
	・信州ジビエフェアのメインイベントとして、ジビエグランプリの開催と銀座 NAGANO での PR 活動	県	委託 直営	561 627 (561) (627)	627 (627)	0 (0)
	県内の野生獣肉の安全性を確認するための放射性物質検査の実施	県	—	300 (300)	300 (300)	0 (0)
供給体制整備	移動式解体処理車の導入や、新たに建設される獣肉処理施設の整備に係る経費に対する支援	事業者等	1/2 以内	0 (0)	11,880 (0)	△11,880 (0)
人材育成	・信州ジビエマイスターの中から、観光コンテンツの一つとして信州ジビエを県内外に強く発信できる料理人を認定	県	—	1,000 (0)	2,000 (0)	△1,000 (0)
				12,733 (5,733)	21,807 (927)	△8,880 (5,000)

6 成果目標

- ・ 信州産シカ肉認証制度の普及、信州産認証シカ肉等の需要拡大 (ジビエとして利用するシカの頭数 現状(H26) 2,072 頭 → 目標(H29) 2,800 頭)
- ・ ニホンジカの捕獲目標の達成 (H29 年度捕獲目標 40,000 頭)